

| 卒業必修 | 保育士必修 | 幼稚園教諭必修 | 選択 |
|---|---------------------|--|---------------------------------------|
| 授業科目名： 子ども家庭支援論 ナンバリング：2108 | 保育士資格取得のための 必修科目 | 単位数：2単位 (半期) 講義 | 担当教員名：山田 耕平 担当形態：単独 |
| 系 列 | 保育の本質・目的に関する科目 | | |
| 教科目 | 子ども家庭支援論 | | |
| 授業の到達目標及びテーマ 1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解できる。 2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解できる。 3. 子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題について理解できる。 | | | |
| 授業の概要 子ども家庭支援の意義・目的、子育て家庭への支援の基本姿勢・内容、実践の方法・技術、子ども家庭支援の課題と現状について理解し、専門職としての知識を定着させる。 | | | |
| 授業計画 第1回：子ども家庭支援の意義 第2回：子ども家庭支援の目的 第3回：子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 第4回：子育て家庭支援の社会資源 第5回：保育の専門性を活かした子ども家庭支援 第6回：子ども家庭支援と子どもの育ちの喜びの共有 第7回：子育てを自ら実践する力 第8回：保育士に求められる基本的態度 第9回：家庭の状況に応じた支援 第10回：地域の資源の活用 第11回：子ども家庭支援の内容と対象 第12回：保育所等を利用する子どもの家庭への支援 第13回：地域の子育て家庭への支援 第14回：要保護児童およびその家庭への支援 第15回：子育て支援に関する課題と展望 定期試験：筆記 | | 授業時間外の学習 ・毎回の講義を必ず復習し、学びや気づきを整理すること。（毎回1時間程度） ・これまでの実習やボランティア等での体験や経験を踏まえて授業を展開するため、適宜振り返ることで学びを深めること。 | |
| 授業の方法 講義およびグループワーク等による演習を中心に授業をすすめる。 提出された課題には、コメント等を入れて返却する。 | | | |
| テキスト 『保育所保育指針解説<平成30年3月>』厚生労働省、フレーベル館 | | | |
| 参考書・参考資料等 『保育者のための子育て支援ガイドブック』中央法規 ※その他、授業において適宜プリント資料を配布する。 | | | |
| 学生に対する評価 授業参画度（30%）、課題（30%）、定期試験（40%）。 ルーブリックを活用し、総合的に評価する。 | | | |
| 履修上の注意 受講にあたっては、テキストや参考文献等を用いて事前事後の学習を行うこと。 | | | |
| 実務経験の有無 | 有 | 実務経験 | 臨床心理士・公認心理師 生活困窮者支援・教育相談・幼稚園巡回相談 等 |
| 実務経験を活かした教育内容 切り口の異なる多様な現場での実践経験を活かし、具体的な事例をもとに授業を行う。 | | | |